

ミケランジェロ略年譜

西暦	法王	年齢	Michelangelo Buonarroti
1452			
1466	1458~64ピウスII		
1472	1464~71パウルスII		
1475	ス1 IV4		3月6日 中部イタリア、フィレンツェ近郊カブレゼに生れる
1476	7		
1479	1 5 8 3		
1481	シ ク ト ウ	6	母死去
1482			
1483	1 4 8 4		
1488	5	13	父の反対を押し切ってフィレンツェのドメニコ・ギルランダイオ工房に入門
1489	1 4 9 2	14	工房を出て、メディチ家の彫刻学校に通う。ロレンツォ・イル・マニフィコに目をかけられ、1492年までメディチ家に住む
1490	イ ン ノ セ ン		ロレンツォ・イル・マニフィコ家に寄宿中「ケンタウロスの闘い」「階段の聖母」(低浮彫、フィレンツェ、カーサ・ブオナローティ蔵)
1492			ロレンツォ没、父の元へ。「磔刑像[木製]」
1493	1 4 9 3		
1494	5 1 5 0 3	19	10月 仏王シャルルVIII フィレンツェ入城、ヴェネツィアへ脱出、ついでボローニャへ。そこで、サン・ドミニコ廟の未完の部分、燭台を持つ天使と聖ペトロニオ、聖プロクルス像を制作
1495		20	フィレンツェへ戻る
1496	ア レ ク サ ン デ レ VI	21	7月 ローマへ。サン・ジョルジオ枢機卿の客となる(一年ほど)
1497		22	フランス人枢機卿ピレールより「ピエタ」依頼
1498		23	8月から翌年へかけて「ピエタ」制作
1499			
1500			
1501		26	フィレンツェへ帰る。「ブルージュのマドンナ」着手(→1504)。8月 市政長官より「ダヴィデ」依頼
1502			
1503	ピ ウ ス III	28	
1504	1 5 0 3	29	政庁会議室壁画「カッシーナの戦い」着手。5月14~17日「ダヴィデ」市政庁前に設置。 円形浮彫聖母子像二点制作。 絵画「ドーニ家の聖母子」
1505	5 1 5 1 3	30	法王ユリウスIIの招きでローマへ。 廟墓制作を依頼され、12月までカララに滞在
1506	2	31	ユリウスII心変わりして廟墓計画を廃棄。4月、フィレンツェへ帰る。11月末、ボローニャへ出かけてユリウスIIと和解
1507	ユ リ ウ ス II	32	ボローニャで巨大なユリウスII像建立に従事
1508		33	2月、「ユリウスII世像」ボローニャ、サン・ペトロ教会正面に設置(1511年12月破壊)。4月ローマへ行き、システイーナ礼拝堂天井画制作契約、5月10日着手
1509			
1510			
1511			
1512		37	8月14日、システイーナ礼拝堂除幕、10月11日完成、11月1日公開
1513		38	3月、2月に死去したユリウスIIの遺族と廟墓制作の契約(規模縮小)。「モーゼ」像と二つの「俘囚」像に着手
1514	X 1 5		

	14		
1516	105	41	7月、ユリウスII廟墓、再々契約により規模さらに縮小。メディチ家出身の法王レオXよりフィレンツェ、サン・ロレンツォ大聖堂正面の制作依頼
1517	152	42	カッラーラで、大理石切出しに何年も費す
1518	1		
1519	12	44	9月、サン・ロレンツォ大聖堂内墓廟建設依頼
1520		45	3月法王、サン・ロレンツォ大聖堂正面建築中止命令。11月メディチ家廟墓再検討
1521	レオ	46	12月6日レオX死去
1523	1522~23 ハドリアヌスVI	48	サンロレンツォ、メディチ家礼拝堂・廟墓着手。ユリウスII遺族、廟墓契約履行を強要
1524	1523	49	クレメンテVIIにローマへ呼び出される。2月クレメンテVII提出の給与・住宅を拒否。フィレンツェのサン・ロレンツォ図書館建設依頼。メディチ家廟・ロレンツォ墓碑の「暁」「夕」像着手
1526	151	51	ユリウス廟のより簡素な設計を提案したが、遺族は拒否。メディチ家廟ジュリアーノ墓碑の「夜」「昼」像着手
1527	151	52	カルロスV、ローマ占領。5月17日メディチ家フィレンツェから追放。
1528	153	53	フィレンツェ市攻防衛会議参加
1529	1534	54	1月10日フィレンツェを防衛するための「民軍九人委」に選ばれ、4月6日「防衛工事総司令官」に任命。6月ピサ、リヴォルノ、フィレンツェに政変。9月フェッラーラの防衛施設を視察。フィレンツェに戻るがすぐヴェネツィアに逃走、市政庁、友人らの懇願により11月再びフィレンツェへ戻って防衛工事を指揮。
1530	クレメンテVII	55	フィレンツェが法王軍に包囲されているあいだに、フェッラーラ公のためのデッサン「レダ」、ヴァローリのために「アポロ」制作。8月フィレンツェ共和国は法王軍に降伏(軍司令官マラテスタ・バリオニの裏切り)、メディチ家の刺客に狙われる。法王のとりなしで、メディチ家の仕事再開。弟子アントーニオ・ミーニ、フランスへ
1531		56	「暁」と「夜」完成。重病に罹る。
1532		57	ユリウスII廟契約更新、彫像6体のみとなる。その年の終り頃トーマーズ・カリヴィエーリ(c.1510~?)と出会う、終生交流
1533		58	9月フランスへ行くクレメンテVIIと会見。システリーナ礼拝堂「最後の審判」制作を約束
1534		59	9月ローマに移住、数日後クレメンテVII死去。「最後の審判」中断。ユリウスII廟墓再開
1535	1533	60	9月新法王「最後の審判」契約を追認、ミケランジェロをヴァティカン宮の画家、彫刻家および建築家に任命
1537	1534	62	再び「最後の審判」に着手。ヴィトリアー・コロナ(1492~1547)を識る。「ブルータス胸像」制作
1541	1505	66	10月「最後の審判」の覆いを取り除く
1542	154	67	8月ユリウスII廟の最終契約、彫像はモーゼ、ラケル、レアの三体
1545	1549	70	2月にユリウスII廟に彫像設置か。同月ヴィットリーアのために「磔刑」図。パオリーナ礼拝堂壁画「パウロの回心」着手(→1545)
1546	パウルスIII	71	パオリーナ礼拝堂の「ペテロの殉教」(→1550)。10月サン・ピエトロ大聖堂建築監督に就任
1547		72	2月ヴィットリーア・コロナ死去。サンピエトロ大聖堂第2案模型
1548		73	8月末頃法王サン・マリーア橋再建依頼
1549		74	ベネット・ヴァルキ、ミケランジェロの四行詩(ソネット)を注釈した「二つの講義」出版。
1550	1550	75	フィレンツェ大聖堂の「ピエタ」制作はこの頃。ヴァザーリ『ルネサンス美術家列伝』初版出版。ユリウスIIIからサン・ジョヴァンニ大聖堂、モントリオール教会の礼拝堂墓廟建設などについて相談
1551	マルセルスII	76	サン・ロッコ大聖堂のそばに建てるユリウスIIIの館の模型着手(→1552年2月)
1553	1555	78	弟子コンディヴィ「ミケランジェロ伝」
1555	1555	80	パウルスVI、サン・ピエトロ大聖堂の大円蓋建築を依頼。サン・ロレンツォ大聖堂図書館階段制作
1556	1555	81	ミーニの後の弟子ウルビーノ死去。9月スペイン軍ローマへ接近、スポレートの間へ避難(→10月末)
1557	1555	82	8月サン・ピエトロ大聖堂大円蓋の模型(第3案)(1561年11月完成)
1559	1558	84	サン・ジョヴァンニ・デ・フィオレンティーニ教会、サンタ・マリア・マッジョーレ教会内スフォルツァ礼拝堂を設計。「ロンダニーニのピエタ」着手この頃か
1560	1556	85	ピウスIVからピーア門の設計、サンタ・マリア・デッリ・アンジェリ大聖堂建造の依頼
1563	1559	88	1月フィレンツェ、アカデミア・デル・ディゼーニョの院長

1564	ピ ウ ス IV	89 1月トレント公会議、システィーナ礼拝堂の「最後の審判」の猥褻とみなした部分を「覆い隠す」決定。2月18日、ローマで死去。3月11日甥レオナルドによって遺体は秘かにフィレンツェに運ばれ、サンタ・クロッチェ教会に埋葬。7月14日フィレンツェ、サン・ロレンツォ教会でアカデミア校葬
------	-------------------	---